

帝王切開を受けられる方（患者様）へ

患者名		様					
経過	手術前日	手術当日	手術後1日	手術後2日	手術後3日	手術後4日	手術後5～7日
目標	手術の為に準備ができる	手術・麻酔に対して不安が表出でき安心して手術に臨む事ができる	全身状態が安定している 子宮収縮が良好である 痛みのコントロールができる	尿留置抜去後、自然排尿がある 子宮収縮が良好である 痛みのコントロールができる	日常生活の範囲を拡大できる 産後の経過にあった行動がとれる	日常生活の注意点がわかる	退院後の生活についてイメージができる 検査データ、創の状態に問題がない
治療処置	必要物品の準備 胎児心拍監視装置をつけます 胎児心音聴取 剃毛(毛を剃ります)	午前6時頃、体温と血圧を測定 胎児心音を聴取 手術前にトックリ、手術着を着用します 手術前に尿の管が入ります 手術後は心電図モニターを装着します	医師が傷の観察をします 背中への痛み止めの管を抜きます（挿入している方） 尿の管を抜きます		血圧測定 ※産後の経過に問題ない場合、手術後6日で退院のこともあります		退院診察（主治医） 退院
検査			採血				採血・検尿
薬剤		点滴をします 背中に痛み止めの管が入る方がいます	傷が痛む時は鎮痛剤を内服して下さい				
活動	制限はありません	(手術前)点滴しながら動けます (手術後)足が動くようになったら積極的に身体を動かしましょう 手術後は2時間毎に体の向きを変えます	ベッドを上げ、身体を起こしましょう 初回の歩行には助産師が付き添います 少しずつ手術前の生活に戻していきましょう	産褥体操をしましょう			
食事	褥婦食 または 治療食	0時以降絶食 ()時以降 飲水出来ません 手術後6時間後より水分摂取できます	朝：欠食 昼：5分粥 夕：全粥食	褥婦食 または 治療食			
清潔	シャワー浴	朝シャワー浴・歯磨きをして下さい	パット交換・洗面介助します 身体拭きをします	傷の状態と体調に応じて2、3日目にシャワー浴が出来るようになります			
教育指導説明	手術前・産後の経過について説明します 看護計画に添って援助していきます		着替えの前に、アヒソ・指輪・ピアス・カネコ・ネックレスなどははずしておきましょう	母子同室についてご質問やご要望がありましたらお申し出ください 授乳・搾乳が始まります 乳房の手入れの方法を説明します 乳頭や乳房の自己マッサージもしてみましょう トイレに行った時に残尿感や排尿時の痛みがある方はお知らせください 母子手帳は入院時預かり、産後一旦お返ししますが退院前日までに再度提出をお願いします			退院後の生活について説明します 退院後の生活についてのパンフレットをご参照下さい 沐浴の仕方について説明します
		母児同室		生後1日目、退院日に新生児科医師による健診があります（お母様のベッドサイドで行います） 朝9時から10時頃 赤ちゃんの沐浴時間です 授乳は3時間から4時間毎にしましょう 希望者のみ入院中に児の聴力検査（自費）をします			児の先天性代謝異常検査
		新生児科入院	新生児科医師より家族へ説明があります	面会時間は11時から22時です。赤ちゃんのご両親は3階の新生児病棟へ入室できます 少量でも母乳を搾りましょう(分泌が多くなれば3時間毎に搾乳します)必要に応じ搾乳方法・冷凍パックの作成方法を説明します			

・病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めて行くにしたがって変わることがあります。

・入院期間等については現時点で予想されるもので、治療の経過によって変更になることがあります。

